

日々の田高（合宿の様子をお知らせします。1）

7月23日（木）から、25日（土）にかけて、本校のダンス部と吹奏楽部が静岡県富士市にて合宿を行いました。今回は、最終日の合宿の総まとめの時間帯にお邪魔をしました。その際の生徒の皆さんの活動の様子をお知らせします。



◆吹奏楽部◆



3週間後に控えた、「第66回東京都高等学校吹奏楽コンクール」に向けての練習です。それぞれのパートが全体の中で、どのような役割をもち、どのように表現するのか、一つ一つ丁寧に、何度も何度もやり直しながら、整えていきます。違和感があると、どうすれば良いのか生徒同士で意見を話したり、顧問の先生から微妙なニュアンスのアドバイスをもらったりしながら、進めています。例えば、音は、しっかり出しながらもまろやかに表現するなど、全体と各パートのバランスと調和に向けて、真摯に取り組む姿が印象的でした。

◆ダンス部◆



今回は、部長さんが企画するワークショップの様子を見ました。曲に合わせた表現を部長さんが考え、それを全体の前で、身体で表現しつつ、言語化して説明をします。初見であるにも関わらず、その表現を1・2年生合わせ、ついていきます。休憩時には、笑顔がこぼれるなか、曲が始まると必死に食らいついていきます。

最後のミーティングで、部長や副部長さんが、「今回のワークショップでは、自分が得意とするジャンルではないと戸惑うこともあるが、それを超えてチャレンジすることで、自分の表現の幅が広がること」「単に、動きを真似するのではなく、身体の本質は何か考えることが大切。例えば、おへそと重心がどこにあるのかなど」「基礎、基本を徹底的に取り組むことが、次につながる」などと話す姿が印象的でした。